令和2年度「地域おこし協力隊ビジネスサポート事業」採択団体

自治体名	事業概要	提案した協力隊員
東広島市(広島県)	【豊栄×ベジ 野菜っておい しいを増やす 〜野菜Labo〜】 町民に向け地域内野菜を使った料理教室を開催し、家庭料理の固定化からの 脱却・孤食の改善を図ると同時に、『おばあちゃんから料理を教わる会』を開催し、食文化を掘り下げる。また、地域住民と共に地域内の規格外野菜・未使用資源を使用した「豊栄生まれのヴィーガン商品」の開発を行い、ヴィーガン対応が進んでいない広島全域の 飲食店・工場・ホテル等に商品やレシピ・ノウハウを提供するとともに、開発した 商品をギフト商品として全国に向けて販売を目指す。	田野実 温代(30) 活動時期 (R元7.~)
東広島市(広島県)	【農村インキュベーション「ぷらっとハウス」プロジェクト】 空き家を借り上げ、学生参加型のワークショップやクラウドファンディングにより 令和2年2月に事業用賃貸及びイベントスペースとしてオープンした「ぷらっとハウス」で、空き家及び活用希望者に関する情報を集積し、農村で事業展開を行い たい人とマッチングすることを通じて、遊休不動産解消と地域活性化を図る。 コワーキングスペースの運営や、自社による転貸(サブリース)物件とのマッチングにより収益化を見込む。	中嶋 直哉(30) 活動時期 (H29.4~R2.3)
上天草町(熊本県)	【廃校を活用した農業と観光による地域再興事業】 地域住民の強い要望により約60年前に開校した高等学校が、8年前に廃校となった。その結果、 地域外からの生徒や関係者等の人の流れがなくなったことにより、下宿、飲食店、小売店、ガソリン スタンド等の商業施設が閉店となった。 地域の誇りでもあった高校を、観光農園などの自然体験活動ができる場として観光客を誘致するとともに、地域住民の雇用の場、気軽に利用できる憩いの場として「地域再興拠点」に再生させる。	元田 有祈(26) 活動時期 (H29.4~R2.3)